

3 平均賃金（集計表 第3表）

（1）全常用労働者の平均賃金

平成29年7月の全常用労働者（役付者を含む。）の平均賃金は、所定時間内賃金が351,957円、所定時間外賃金が34,617円となり、合計で386,574円（平均年齢41.9歳、平均勤続年数10.7年）であった。労働組合の有無別にみると、労働組合の「あり」と回答した企業は「なし」と回答した企業に比べ、所定時間内賃金で9,739円（2.8%）高くなっている。また、企業規模別では規模が大きくなるにつれて所定時間内賃金、所定時間外賃金のいずれも高くなっている。

また、平成28年の全常用労働者の年間給与支払額（所定時間外賃金、賞与等を含む。）の平均額は5,475,097円であった。

〈図表3-1〉全常用労働者の平均賃金

（単位：歳、年、円）

	平均年齢	平均勤続年数	平成29年7月1か月の平均賃金			平成28年 年間給与 支払額
			所定時間内 賃金	うち通勤手当	所定時間外 賃金	
労組あり	43.6	13.4	360,035	12,966	45,340	5,754,828
労組なし	41.6	10.1	350,296	12,653	32,841	5,427,841
10～49人	42.6	10.5	339,251	11,915	27,116	5,032,624
50～99人	40.7	10.1	352,655	12,174	32,054	5,609,268
100～299人	42.1	11.2	363,351	13,815	43,107	5,801,554

前回調査結果と比較すると、所定時間内賃金は3,798円（1.1%）増加し、所定時間外賃金は1,938円（5.3%）減少した。また、平成28年の年間給与支払額は平成27年より119,285円（2.2%）上回った。

〈図表3-2〉平均賃金の推移

（単位：円、%）

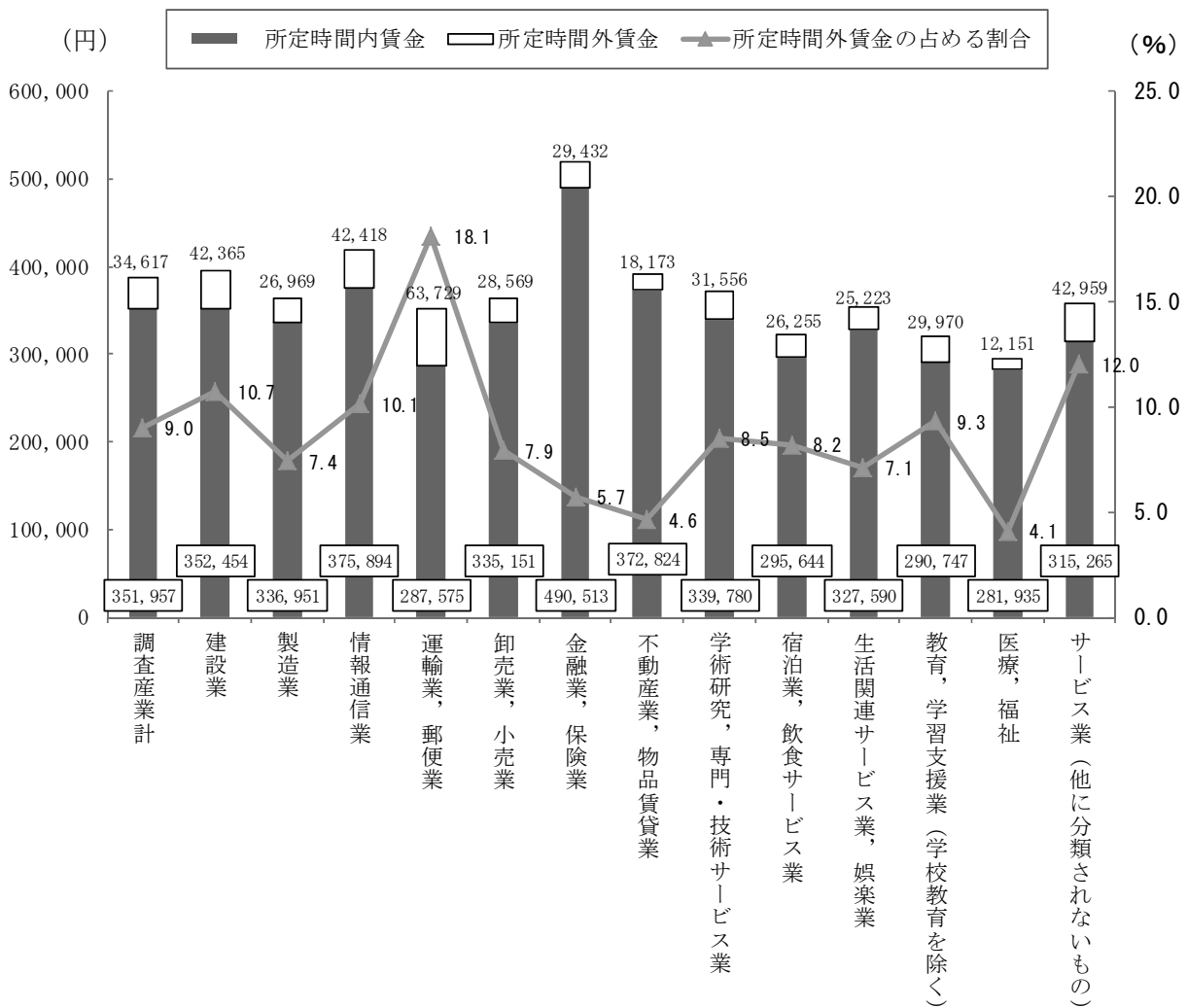
調査年（平成）	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年
所定時間内賃金	348,171	335,398	345,716	345,679	343,136	334,535	353,431	346,678	348,159	351,957
対前年比	1.1	△3.7	3.1	△0.0	△0.7	△2.5	5.6	△1.9	0.4	1.1
所定時間外賃金	26,161	24,664	25,720	25,455	30,237	25,457	32,602	32,752	36,555	34,617
対前年比	△3.9	△5.7	4.3	△1.0	18.8	△15.8	28.1	0.5	11.6	△5.3
賃金計	374,332	360,062	371,436	371,134	373,373	359,992	386,033	379,430	384,714	386,574
対前年比	0.7	△3.8	3.2	△0.1	0.6	△3.6	7.2	△1.7	1.4	0.5
年間給与支払額 （源泉徴収票の支払金額）	5,429,210	5,187,025	5,219,416	5,245,378	4,994,493	5,059,193	5,244,997	5,355,812	5,475,097	-
対前年比	2.6	△4.5	0.6	0.5	△4.8	1.3	3.7	2.1	2.2	-

(2) 産業別平均賃金

所定時間内賃金（通勤手当含む。）では「金融業，保険業」が最も高く490,513円、次いで「情報通信業」375,894円、「不動産業，物品賃貸業」372,824円の順となっている。所定時間内賃金が最も低い産業は「医療，福祉」で281,935円であった。

所定時間外賃金の高い産業を見ると、「運輸業，郵便業」63,729円、「サービス業（他に分類されないもの）」42,959円、「情報通信業」42,418円の順になっており、賃金総額における所定時間外賃金の占める割合も「運輸業，郵便業」が18.1%と最も高くなっている。

<図表3-3>平均賃金の産業別比較



(3) 男女別平均賃金

所定時間内賃金では男性 378,092 円（平均年齢 42.9 歳、平均勤続年数 11.6 年）、女性 287,236 円（平均年齢 38.7 歳、平均勤続年数 8.5 年）であり、女性の所定時間内賃金は男性の 76.0%となっている。これを産業別にみると「医療、福祉」（92.9%）が男女間の所定時間内賃金の差が最も小さく、次いで「運輸業、郵便業」（89.6%）の順になっている。一方、「金融業、保険業」では、女性の所定時間内賃金は男性の 62.6%である。

<図表 3-4> 男女別平均賃金

